

日本学術会議 基礎医学委員会 IUPS 分科会（第 26 期・第 2 回）

議事要旨

日 時：令和 6 年 12 月 18 日（水）18 時 00 分～19 時 10 分

場 所：オンライン会議

出席者：赤羽 悟美、岡村 康司、加藤 総夫、久保 義弘、高橋 倫子、樽野 陽幸、  
中條 浩一、日比野 浩、横山 詩子

欠席者：伊佐 正

審議事項

1. 令和 7 年度の代表派遣会議である IUPS Congress 2025 に向けた申請候補者として中條浩一委員を選出した。
2. IUPS 総会において日本は 6 票を持っており、参加する代議員(delegate)を 6 名選出する必要がある。現時点で、赤羽、岡村、久保、中條の 4 名の委員が確実に参加する予定で、日比野委員も前向きに参加を検討中である。IUPS 理事の岡村委員、久保委員以外に、6 名を確保するべく、日本生理学会執行部も交えて、引き続き検討していくこととした。
3. 第 26 期の特任連携会員として、IUPS のメンタープログラムの観点からの議論を可能とするため、本活動に大きく貢献している大分大学の花田礼子教授を候補者として選定した。花田教授の意向を確認したうえで、特任連携会員の申請を進めていくこととした。
4. IUPS コンgress 2029/2033 について、日本開催を目指して立候補する可能性について議論した。今後、日本生理学会執行部も交え、立候補の可能性について検討を行うこととした。

報告事項

1. 中條委員が提案したシンポジウムが IUPS2025 で採択され、オーガナイザーおよびチェアーとして参加すること、また、河西春郎氏、月田早智子氏が、特別講演を行うことが決定したことが報告された。
2. IUPS 副理事長である久保委員より、IUPS による生理科学のグローバルプロモーションの活動の一環として、2025 年 2 月のアフリカ生理学会（エジプト）を支援すること、日本生理学会も支援を決定したことが報告された。また 2024 年 12 月にコスタリカで行われたアメリカの生理学講座のチェアパーソン会議に、久保委員を含む IUPS 執行部が参加し、情報共有と意見交換を行ったことが報告された。
3. 2024 年の IUPS Julie Chan Prize の受賞者 1 名が決定し、日本人が受賞することが報告された。